

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成21年12月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

- **需要面**・・・個人消費は、低調ながら、一部に持ち直しの動きがみられる。
大型小売店販売額(店舗調整後)は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(9月)
乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、公共工事請負金額は前年を上回ったが、用途別着工建築物工事金額は前年を下回った。(10月)
- **産業面**・・・鉱工業生産は、持ち直しの動きがみられる。
鉱工業生産指数は、季節調整済指数は前月を上回り、原指数も前年を上回った。(9月)
- **雇用面**・・・雇用情勢は、厳しい状況にある。
きまって支給する給与、所定外労働時間とも前年を下回った。(9月)
求人倍率は、新規・有効ともに前月を上回った。新規求人数は前年を下回った。(10月)

○需要面の動き

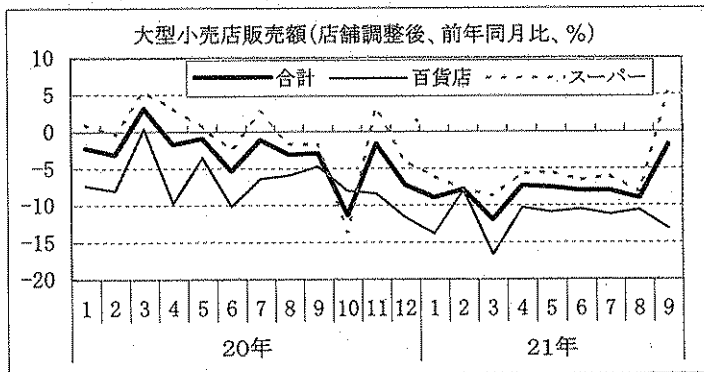
大型小売店販売額(9月)

全店舗の販売額は、50億8,700万円(前年同月比12.0%増)と3か月続いて前年を上回り、店舗調整後では18か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	508,700	12.0	(▲1.8)
百貨店	151,600	▲13.1	(▲13.1)
スーパー	357,100	27.6	(5.2)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(9月)

31億5,300万円(前年同月比2.7%増)と4か月ぶりに前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(10月)

1,876台(前年同月比22.3%増)と5か月続いて前年を上回った。普通車、小型車及び軽自動車全ての区分で前年を上回った。

新設住宅着工戸数(10月)

257戸(前年同月比11.3%増)と10か月ぶりに前年を上回った。持家系(前年同月比4.1%増)、貸家系(前年同月比19.1%増)ともに前年を上回った。

用途別着工建築物工事金額(10月)

3億6,400万円(前年同月比72.7%減)と4か月連続で前年を下回った。用途別では、製造業(前年同月比89.6%減)、医療、福祉(前年同月比77.8%減)等で前年を下回り、卸売業、小売業(前年同月比135.3%増)で前年を上回った。

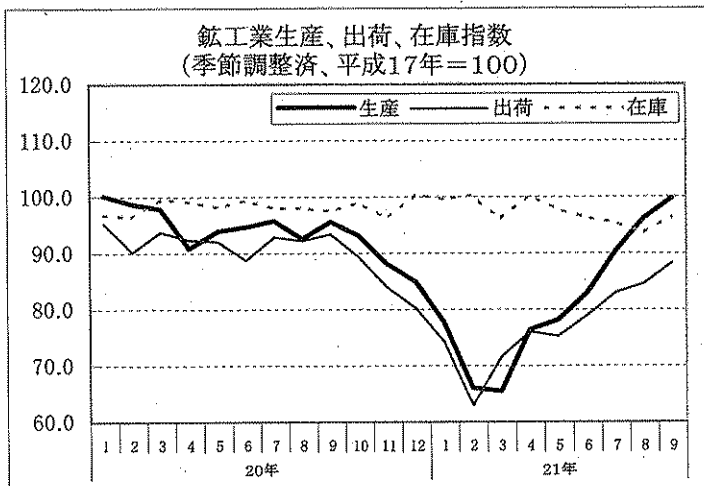
公共工事請負金額(10月)

103億1,800万円(前年同月比10.5%増)と3か月続いて前年を上回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比28.5%増)、県(前年同月比28.6%増)等で前年を上回った。

○産業面の動き

鉱工業指数(9月)

生産指数(季節調整済)は99.8(前月比3.7%上昇)と6か月続けて上昇となり、原指数も94.9(前年同月比2.0%上昇)と2か月続いて上昇となった。
内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが10.3%低下となり3か月ぶりの低下、電子部品・デバイスが4.5%上昇となり6か月連続の上昇、電気機械が9.5%低下となり3か月ぶりの低下、一般機械が19.2%上昇となり2か月ぶりの上昇となった。
在庫指数(季節調整済)は96.5と前月比3.1%上昇した。



大口需要電力実績(9月)

126,018kwh(前年同月比7.0%減)と14か月続いて前年を下回り、鉱工業用電力も主要4区分の全てで前年を下回った。

青果物卸売量(10月、鳥取市場)

野菜が1,864t(前年同月比6.3%増)と2か月続いて前年を上回り、果実は1,078t(前年同月比2.1%減)と2か月続いて前年を下回った。

漁獲量(10月、境港)

16,999t(前年同月比49.4%増)と5か月続いて前年を上回った。

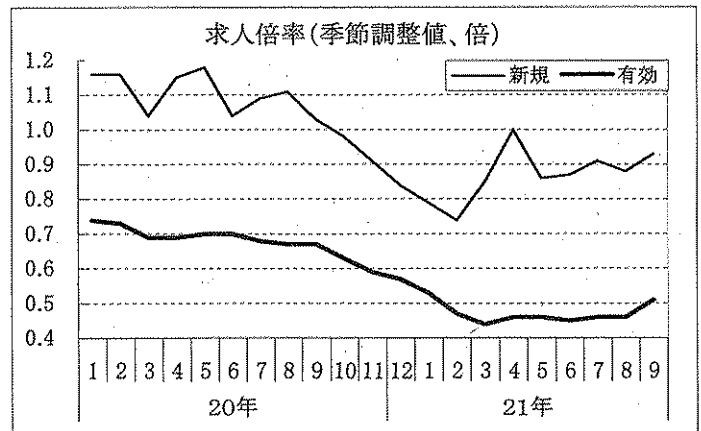
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(10月)

0.93倍(前月差0.05ポイント上昇、前年同月差0.05ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、3,730人(前年同月比4.1%減)と25か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率(10月)

0.51倍(前月差0.03ポイント上昇、前年同月差0.12ポイント低下)となっており、9か月ぶりに0.5倍を上回った。



現金給与総額(9月)

243,615円(前年同月比1.8%減)と9か月続いて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、242,394円(前年同月比1.7%減)で16か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(9月)

7.7時間(前年同月比16.1%減)と14か月続いて前年を下回った。主力の製造業は19.1%減となった。産業別の前年同月比では、電気ガス水道業(前年同月比26.9%増)等で前年を上回り、卸売業、小売業(前年同月比40.6%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(9月末)

預金残高は、1兆9,324億円(前年同月比4.6%増)と9か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,310億円(前年同月比0.7%増)と5か月続いて前年を上回った。

○参考

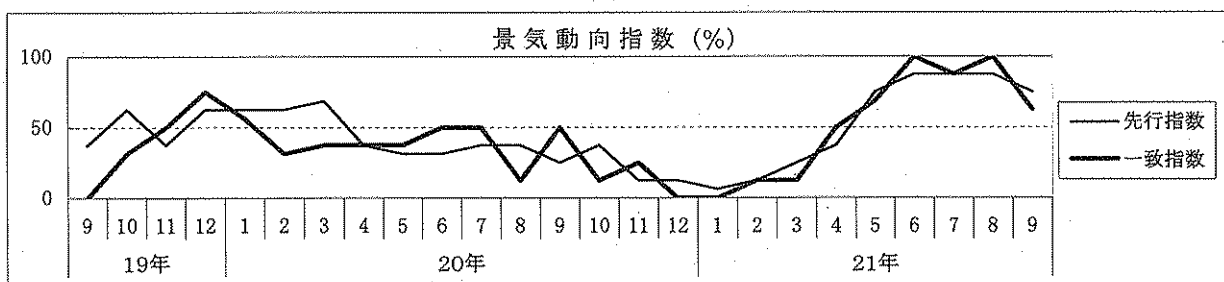
鳥取県景気動向指数(9月)

先行指数75.0%、一致指数62.5%、遅行指数20.0%となった。

先行指数は5か月続いて50%以上となった。

一致指数は6か月続いて50%以上となった。

遅行指数は3か月続いて50%を下回った。



企業倒産(10月)

件数は5件(前年同月比150.0%増)で7か月ぶりに前年を上回り、負債総額は5億5,600万円(前年同月比327.7%増)で9か月ぶりに前年を上回った。

消費者物価指数(10月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.5となり、前月比(▲0.3%)は低下となり、前年同月比(▲2.3%)も低下した。

鳥取県の推計人口(11月1日現在)

591,156人で、前月と比べて6人(0.00%)増加し、前年同月と比べて3,607人(0.61%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成21年11月調査)

平成21年10～12月期は、平成21年7～9月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもがやや好調となっている。

平成22年1～3月期は、平成21年10～12月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもがきわめて不調となる見通しとなっている。